

読響 YOMIKYO
Yrs. 1962-2022

Elias
Conductor=
Grandy

指揮=
エリアス・グランディ

名門ハイデルベルク市立劇場の
音楽総監督を務める新鋭

珠玉の
オペラ・アリア
傑作交響曲

モーツァルト：
歌劇「ドン・ジョヴァンニ」序曲
“薬屋の歌”

MOZART: "Don Giovanni", Overture, "Vedrai, carino"

歌劇「フィガロの結婚」序曲
“自分で自分がわからない”
“恋とはどんなものかしら”

"Le nozze di Figaro", Overture, "Non so più cosa son, cosa faccio", "Voi che sapete"

歌劇「皇帝ティートの慈悲」序曲
“私は行く、でも愛しい人よ”

"La clemenza di Tito", Overture, "Parto! Ma tu ben mio"

ブラームス：
交響曲第1番 ハ短調 作品68

BRAHMS: Symphony No. 1 in C minor, op. 68

メゾ・ソプラノ=
アンナ・ルチア・リヒター

ザルツブルク音楽祭などで活躍!
世界を虜にする澄んだ美声

©KaupoKikkas

Anna
Lucia
Richter

Mezzo Soprano=

読売日本交響楽団 第255回土曜・日曜マチネーシリーズ

2023 2.11 土・祝 12 日

Saturday Matinée Series No. 255 Saturday, 11 February 2023

Sunday Matinée Series No. 255 Sunday, 12 February 2023

14:00開演 東京芸術劇場コンサートホール

14:00 Tokyo Metropolitan Theatre

S¥7,600 A¥5,600 B¥4,600 C¥4,100

お申し込み・お問い合わせ：読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時～18時・年中無休／12/29～1/3を除く)

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会 共催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場

<https://yomikyo.or.jp/>

新鋭グランディが振る『歓喜のブラームス』 世界的歌姫リヒターがオペラ・アリアで美声を披露！



©Felix Broede

エリ阿斯・グランディ (指揮)

ELIAS GRANDY, Conductor

確かな技量と傑出した才能で注目を浴びるドイツの新鋭指揮者。2015年ショルティ国際指揮コンクール第2位となり、一躍世界的な注目を浴びる。12年から16年までダルムシュタット市立歌劇場のカペルマイスターを務め、現在はハイデルベルク市立劇場音楽監督の任にある。モンテヴェルディ、モーツァルトからハース、ルジツカなどの現代作品まで幅広いレパートリーを誇る。これまでにフランクフルト放送響、ザルツブルク・モーツァルテウム管に客演するほか、ミネソタ・オペラでR.シュトラウス「エレクトラ」やハイデルベルク歌劇場でベルク「ルル」などを上演して好評を博し、オペラとコンサートの双方で活躍の場を広げている。読響とは20年に初共演して絶賛された。

人気のシンフォニーと名作オペラ・アリアを楽しむ土日の午後。2月の《土曜・日曜マチネーシリーズ》は、ブラームス渾身の傑作交響曲をメインに、前半はモーツァルトの華やかな序曲とアリアをお届けする。指揮台に上がるのは、ハイデルベルク市立劇場の音楽総監督を務めるエリ阿斯・グランディ。コンサートとオペラ双方で活躍する新鋭が、得意とするプログラムで極上のサウンドを読響から引き出す。

メインとなるブラームスの交響曲第1番は、構想から20年以上もの歳月を費やして完成させた作曲家最初の交響曲。悲痛に満ちた冒頭から、情熱や慰み、人間味あふれるさまざまな楽想が姿を現し、不朽の名作として世界中で愛されている。終楽章では、苦悩を乗り越えた輝かしい歓喜のフィナーレが鳴り響き、会場を熱狂へと誘う。グランディは歯切れのよいタクトで一糸乱れぬ統率力を発揮

し、弦楽器から畳みかけるようなリズムを展開させ、木管楽器から伸びやかな旋律を朗々と響かせるだろう。ドイツの新鋭が作り上げる壮大な音世界に期待が膨らむ。

前半には、メゾ・ソプラノのアンナ・ルチア・リヒターが登場し、モーツァルトの珠玉のオペラ・アリアを優美に歌い上げる。「ドン・ジョヴァンニ」の“薬屋の歌”や「フィガロ」の“恋とはどんなものかしら”などの名場面が並び、祝祭感あふれる舞台となるに違いない。リヒターは、ハイティンク、ロト、クルレンツィスら巨匠と共演を重ね、ザルツブルク音楽祭など世界各地で絶賛されている歌姫だ。世界の聴衆を虜にするほどの澄み切った美声と豊かな表現力をたっぷりと聴かせてくれるはずだ。また、それぞれの序曲では、グランディが澁澁としたリズムを立ち上がりさせて華やかな幕開けを飾るだろう。名曲で鮮やかに彩られる午後のひとときをどうぞお楽しみに。



©Kaupo Kikkas

アンナ・ルチア・リヒター (メゾ・ソプラノ)

ANNA LUCIA RICHTER, Mezzo-Soprano

透明感ある歌声と豊かな表現力で世界的に注目を浴びる歌姫。ドイツ・ケルン生まれ。これまでにクルレンツィス指揮ムジカエテルナと頻りに共演するほか、2021年ザルツブルク音楽祭の「ドン・ジョヴァンニ」ではツェルリーナ役で出演。ハイティンク、ヘンゲルブロック、ロトら世界的指揮者のもとロンドン響、バリ管、ブダペスト祝祭管など欧州の一流楽団と共演。ルツェルン音楽祭、BBCプロムス、ラインガウ音楽祭などの主要音楽祭にも度々登場している。23年4月にはメスト指揮ウィーン・フィルによる「マタイ受難曲」のソリストを務める。ドイツ・リート演奏にも情熱を注ぎ、カーネギーホール、ウィグモアホールなどの主要な舞台で幅広いレパートリーを歌っている。

読売日本交響楽団 第255回土曜マチネーシリーズ

2023年 **2月11日** (土・祝) 14:00開演

読売日本交響楽団 第255回日曜マチネーシリーズ

2023年 **2月12日** (日) 14:00開演

東京芸術劇場 コンサートホール

S ¥7,600 A ¥5,600 B ¥4,600 C ¥4,100

東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111

JR・西池袋袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分(*駅地下通路2b出口と直結しています)

東京芸術劇場 コンサートホール

S ¥7,600 A ¥5,600 B ¥4,600 C ¥4,100

東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111

JR・西池袋袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分(*駅地下通路2b出口と直結しています)

【託児サービス】東京芸術劇場には一時託児サービスがあります(公演1週間前まで予約)。株式会社ミラクス ミラクスシッター0120-415-306(予約受付:平日9時~17時)

【学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご購入いただいたチケットは、公演中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。

■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。■マスク着用など、読響の「感染予防対策」にご協力をお願いします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

■10:00-18:00 年中無休(12/29~1/3を除く)

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

■座席選択可/チケット郵送料無料

プレイガイド ■チケットぴあ <https://t.pia.jp/> ■東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

